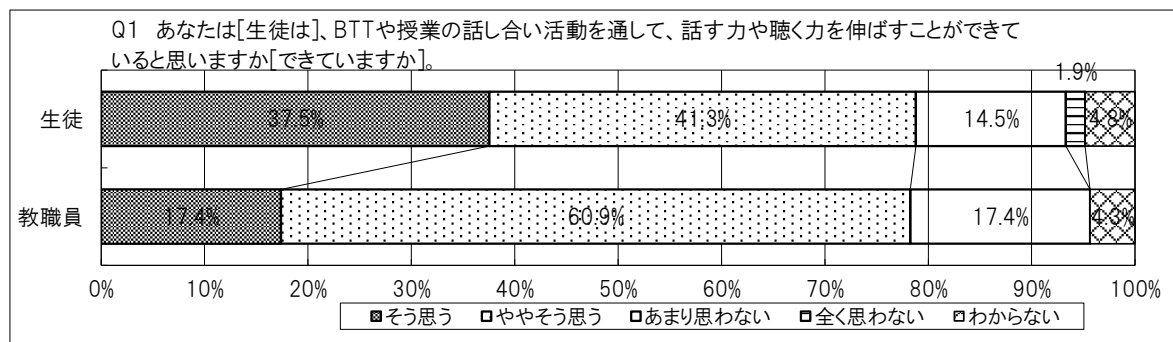


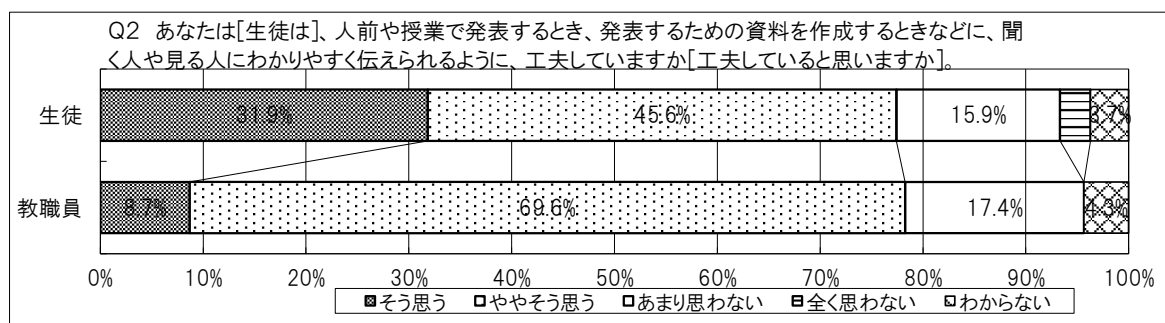
令和3年度 7月学校評価について

○生徒がよりよい教育活動を受けられることを目指し、「学校をよりよくする」ために、学校評価アンケートを行っています。

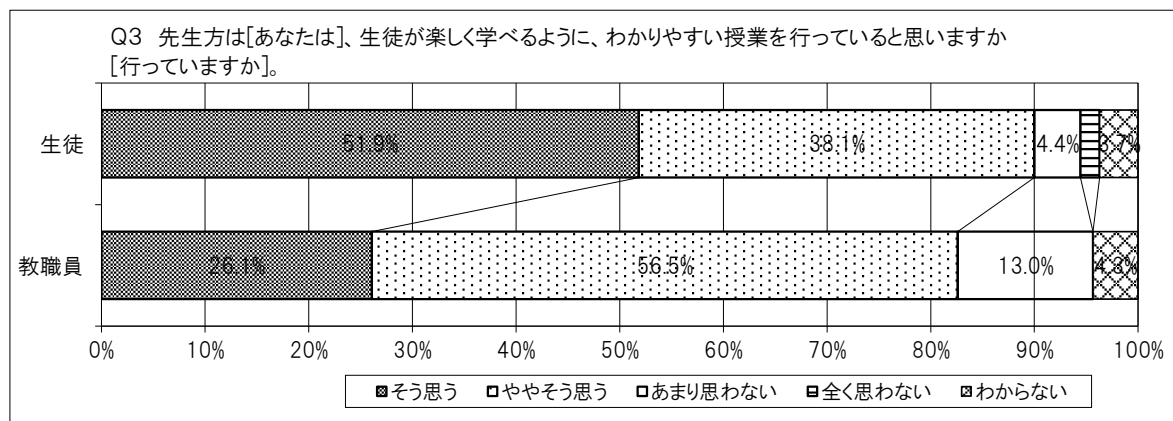
<全校生徒、教職員アンケート結果>



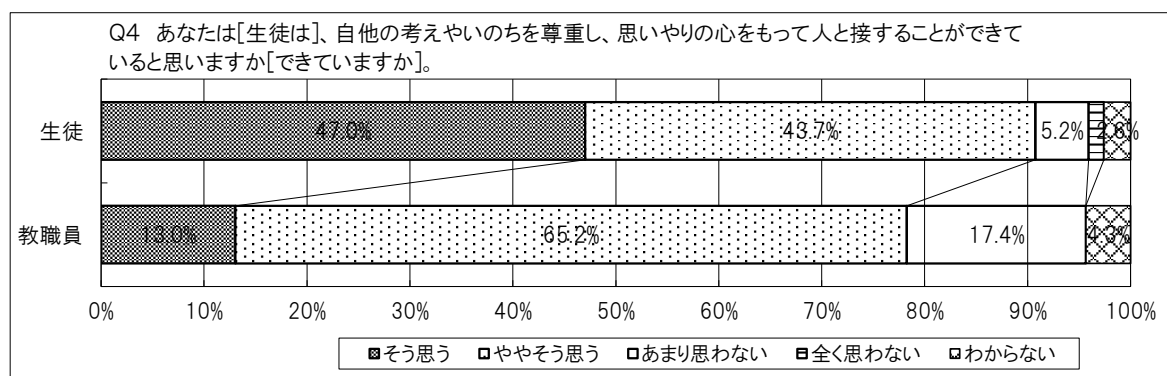
授業やBTT(話し合い活動)等で自分の考えを発表する場面を設けています。昨年度の同時期と比べて、生徒も教職員も「話す力」「聴く力」が伸びてきていると感じています。更に「話す力」「聴く力」を伸ばして、個々の考え、学びが深まるよう努めていきます。



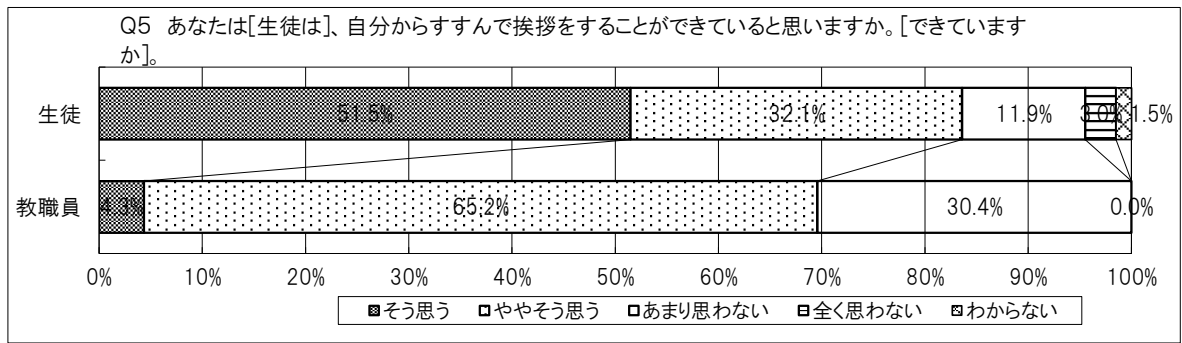
約8割の生徒が自分の考えをわかりやすく伝える工夫をしています。昨年度は約7割でしたが、生徒の意識も高まっていて、それを教職員も評価しています。発表の場面では、図や写真などを準備する生徒も増え、聞いた生徒たちからはわかりやすいという声が多く聞かれます。他者意識をもって表現する力が伸びてきました。



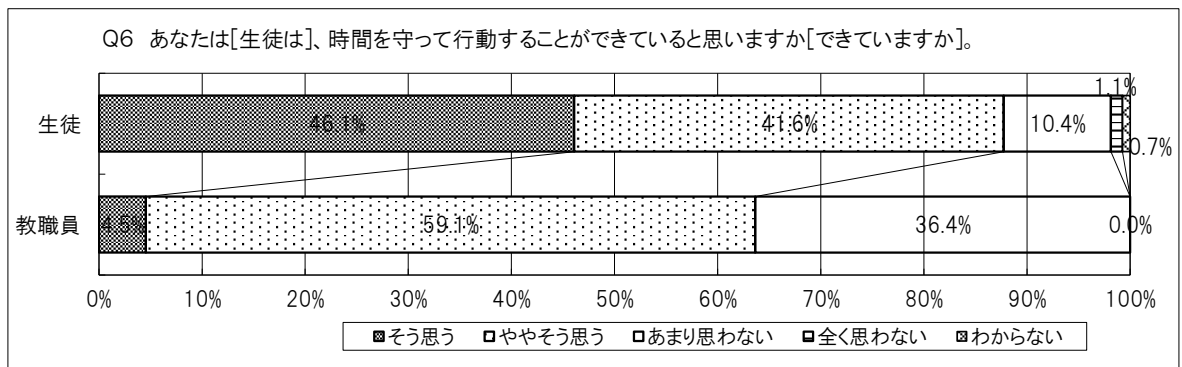
9割の生徒が、授業がわかりやすい、楽しく学べていると肯定的な評価をしています。これからも生徒が学習内容に興味をもち、もっと深く学びたいと思えるように、研修を重ね、よりよい授業づくりを追究していきます。



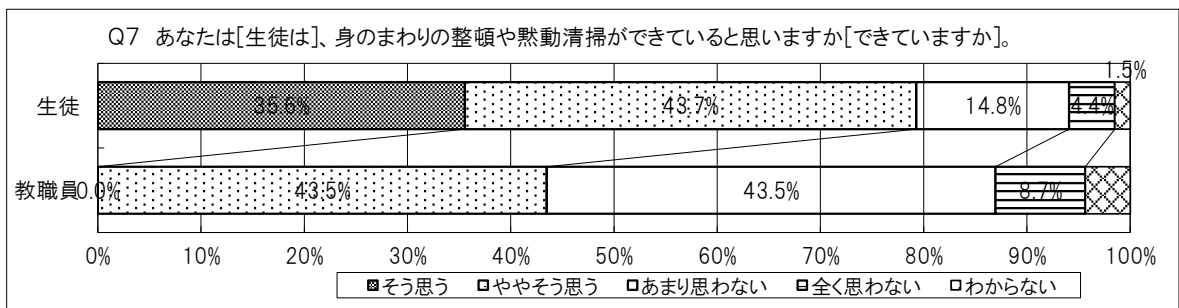
約9割の生徒が肯定的な回答をしているのは昨年同様ですが、教職員の評価がかなり高くなっています。学校生活のさまざまな場面でいのちを大切にし、他者のことを尊重する、生徒の心の成長を感じています。更に、豊かな心をもって行動する生徒の育成に取り組んでいきます。



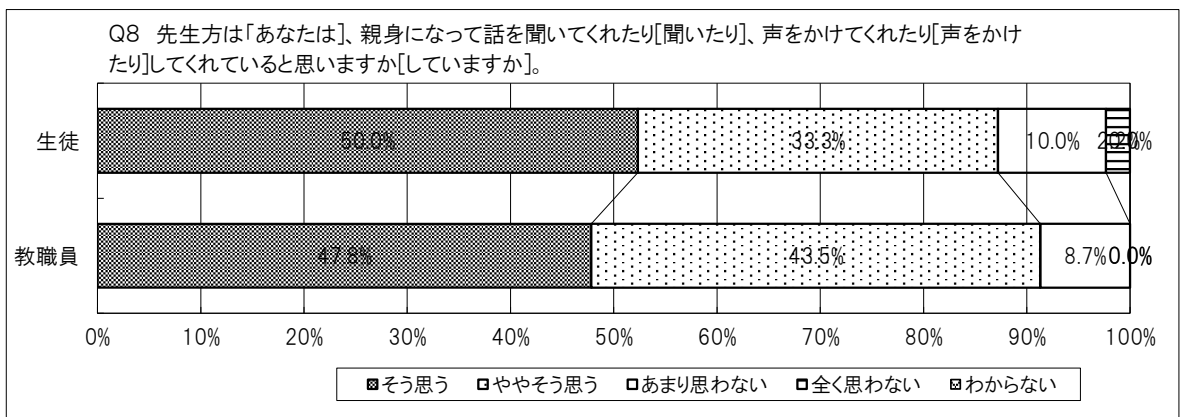
昨年度同様、生徒の自己評価はたいへん高く、廊下などで自然に「こんにちは。」と挨拶ができる生徒も増えてきています。その一方で、教職員の評価は厳しい結果になっています。場面に応じて自分から挨拶ができるよう、「挨拶の意義」等、人として大切なことを考える場面をつくっていきます。教職員が率先垂範を心がけます。



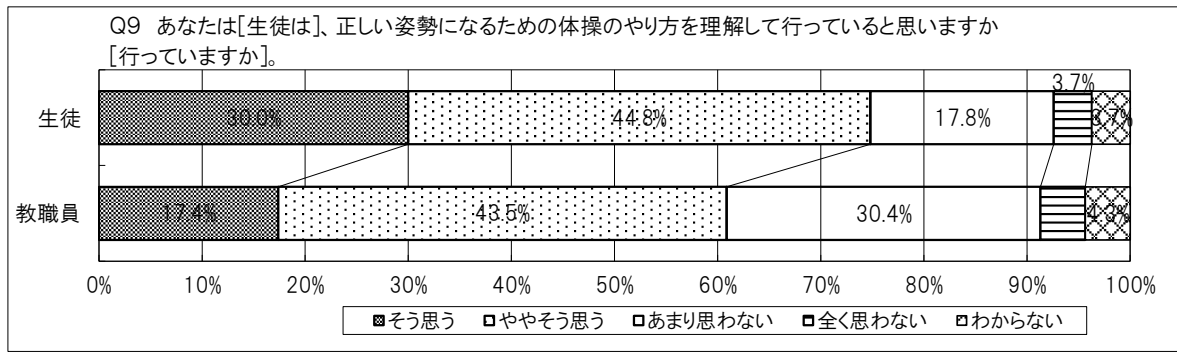
授業の開始時刻を意識し、早めに移動、準備をしている姿を多く見ます。1分前着席もほとんどの生徒ができています。給食の準備や部活動後の下校等でも、時間を意識して行動できるように、声をかけていきます。



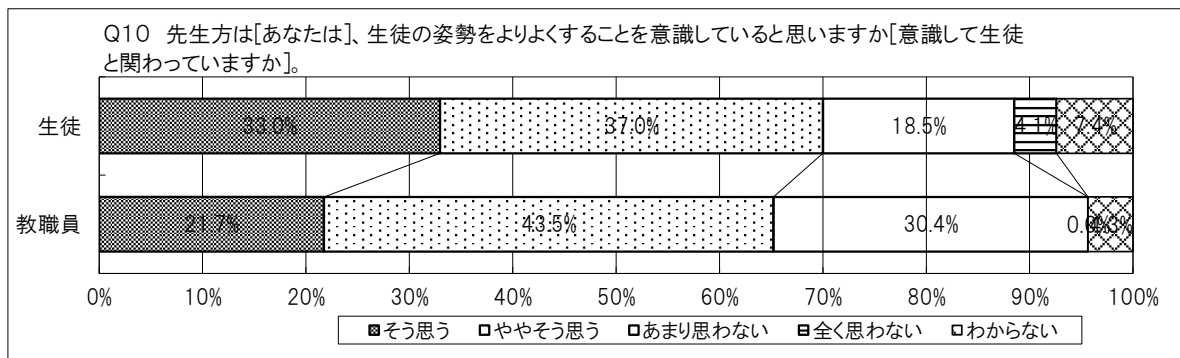
週3回の掃除の時間に黙って隅々まできれいにすることはもちろん、平日頃から教室の整理整頓を心がけ、廊下やトイレなどをきれいに使い、落ち着いた環境で生活できるよさについて生徒と対話を重ねます。



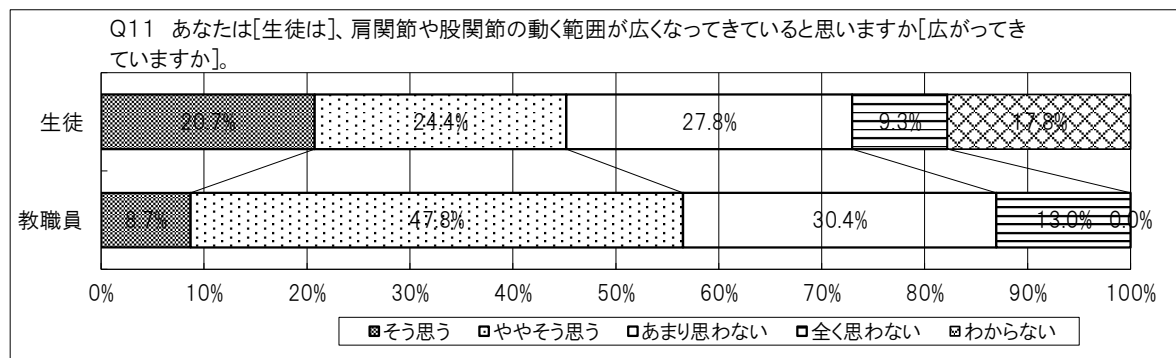
昨年より多い8割以上の生徒が、先生は話を聞いてくれたり、声をかけてくれたりしていると答えています。一日の学校生活の中で、授業、放課、部活動の時間など、さまざまな場面で学級学年を問わず教職員が声をかけ、コミュニケーションを図っていきます。



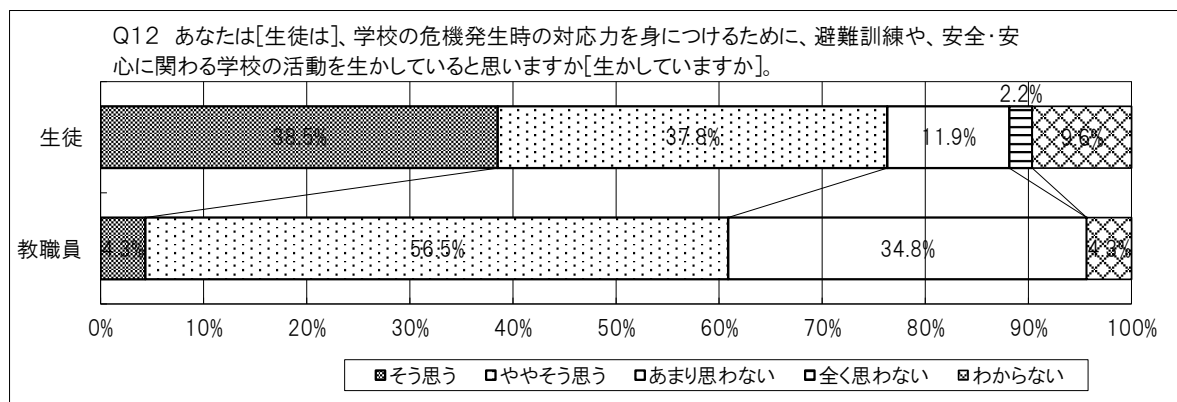
今年度も、毎朝全校でストレッチをしています。音楽に合わせて体を動かすことで、気持ちのよい一日のスタートとなります。2年目ということもあり、一つ一つの体操の効果やその意味を意識できなくなっているようです。もう一度確認をして有意義な時間にしていきます。



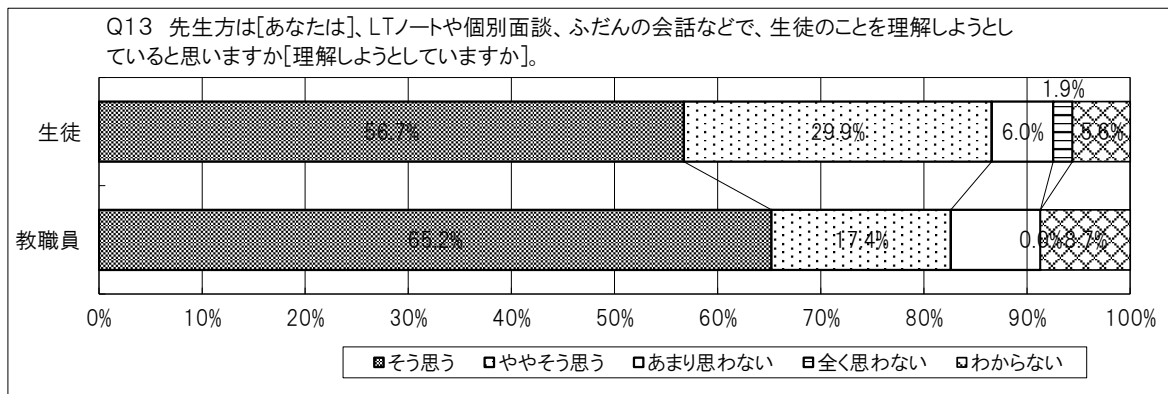
授業中いすに座っているときや話を聞かときの姿勢など、改善の余地があります。その都度声をかけて、いつでもどんな場面でも生徒たちがよい姿勢で過ごせるように働きかけていきます。



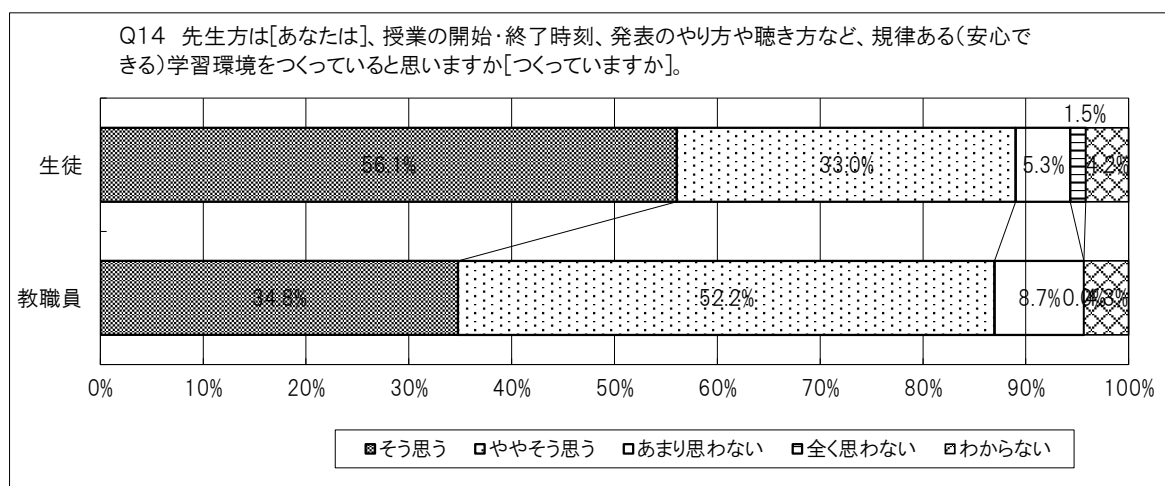
昨年度に引き続き、けがをしにくい体をつくるために、理学療法士にアドバイスをいただいています。今のところ、生徒たちよりも教職員の方が、ストレッチの効果を感じているようです。今年度は、生徒たちが更に効果を感じられるように、当該部活動に適したストレッチに取り組んでいきます。



ふだんの生活では興味のあることや楽しみが優先してしまい、安全面を意識できない場面も見られます。地震等の災害が起きた場合には、中学生は地域の大きな力となります。避難所では救助する側として働くなど、自分の身を守るだけでなく、自分たちにはどんなことができるのか、考える場面をつくっていきます。



「先生方が自分たちのことを理解しようとしている」と思っている生徒が9割近くいます。今後も全職員で全生徒を育てていけるよう、生徒と過ごす時間を大切に、更に生徒理解に努めていきたいと思ひます。



約9割の生徒が、規律ある落ち着いた環境の中で学習に臨んでいると感じています。少数ですが、そう思っていない生徒の声を受け止めることで、全生徒が安心して主体的に学習に取り組めるよりよい授業づくりに努めていきます。